

ForumK

https://keitaro-ohno.com

衆議院議員 自民党香川3区支部長
大野敬太郎

□東京事務所
〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1211号室
TEL:03-3508-7132 FAX:03-3502-5870

□丸亀事務所
〒763-0082 香川県丸亀市土器町東1-129-2
TEL:0877-21-7711 FAX:0877-21-7701
E-mail:marugame@keitaro-ohno.com

□観音寺事務所
〒768-0022 香川県観音寺市本大町1797-2
TEL:0875-23-1231 FAX:0875-25-9539
E-mail:kanonji@keitaro-ohno.com

ドイツで開催された G7 科学大臣会合に日本政府を代表して出席する大野内閣府副大臣

生活と経済を守りぬく
経済安全保障推進法成立

岸田内閣の看板政策である「経済安全保障推進法」が本年五月に可決成立した。政権発足時、岸田文雄総理は経済安全保障担当大臣ポストを新設、大野支部長はその副大臣に就任している。世界の先駆けとなる取り組みに注目が集まる中、小林鷹之大臣と共に法案を成立させた大野副大臣に聞いた。

■経済安全保障とは？

大野：経済面から国益を守ること、他国の動向に左右されることなく主体的に未来を選択できる環境を経済面で整えることです。

例えば生活や経済にとって必須の物資が他国に過度に依存している、主體的に未来を選択できなくなりますが、ガソリンやワクチンもそうです。従って戦略的に自律性を確保する必要があります。

逆に、世界にはない日本の強みがあれば、日本は不可欠の存在となり、未来の選択幅が広がる。半導体の素材製造技術などです。すなわち戦略的な不可欠性ですね。更に、この戦略的自律性と戦略的不可欠性を通じて、国際ルールを主導的に形成していくことが必要になります。

■この法律があれば安心？

大野：ないと不安です。特に今はコロナやウクライナ危機によって国際秩序が劣化、国によっては経済的手段で外交圧力をかけようとする国もあります。法律がなくともできることもありますが、なければ絶対できない基本的なことを一括してまとめたものが今回の法律です。世界初の一括推進法で、各国から大変注目されています。今後必要な改正は行っていく必要があります。

■成立は大変だったと聞くが？

大野：起案にあたっては、各省エース級の職員と共に、ほぼ毎日のように小林鷹之大臣のもとに集まり、細部まで議論を重ねました。困難の連続でしたが、成立まで漕ぎ着けたのも、このチームの熱意と努力の賜物です。また、成立に

は多くの同僚議員の熱意と協力がありました。

■経済活動は制約を受けるのか？

大野：経済活動は今まで通り自由が原則です。特定の物資や役務に限り制限が検討されますが、経済安全保障が目的化することは決してありません。経済活動の制約を強め過ぎて衰退させれば本末転倒ですから。法律でも明記していますが、経済活動を最大化しつつ安全保障を確保するのが基本方針です。国際情勢や技術動向、民間事業の形態などを勘案し、可能な限り予見性を確保しつつ、機動的かつ柔軟に対応して参ります。

■米中対立や自由貿易との関係

大野：米中対立を前提としたものではなく、あくまで日本独自の経済安全保障の考え方に基いたものです。他国の動向に左右されない環境整備が重要です。自由貿易は国際秩序維持にとっても重要なので推進すべきですが、自由を制限しなければ秩序確保が困難な領域があり、それを対象としてグローバルサプライチェーンの再構築を検討します。ただ、全てを自国回帰誘導するものではなく、同志国と融通しあったり、代替物資を開発したり、生産効率化を図るなども検討します。

■法律の具体的な中身は？

大野：経済活動や国民の生活が脅かされる可能性があるとなれば、



参議院内閣委員会での質疑



小林鷹之経済安全保障担当大臣と内閣委員会可決を確認

資金循環の新構造
新しい資本主義

それは第一に、電気、水道、ガスなどの既に業法規制がかかっている基幹インフラサービスの安定供給、第二に、業法規制はないものの止まれば重大な影響が及ぶ医薬品や鉱物資源などの重要物資の安定供給確保、第三に、日本独自の戦略技術の研究開発を推進し戦略的不可欠性を確保するための官民技術協力の体制整備、そして第四に、そうした技術があったとしても技術流出防止を講じる必要があるという観点から、特許制度の抜け穴を塞ぐ特許出願非公開化、です。もちろんこの法律によらずともできることはやっていきます。

■経済対策も喫緊の課題では？

大野：賃金を上げていかなければなりません。そのためには新しい分野への投資を増やす必要があります。金融界でも大きな話題になっていますのがESG投資です。世界全体で四千七百兆円の資金が社会課題解決に向けられています。この資金を大手企業がしっかりと活用し、それを地方の社会課題解決を目指す事業者に投じて頂く。こうした循環を確立できれば、投資促進による新しい資金循環のみならず、地方経済のネックとなっている社会課題の解決にも繋がります。根本的に経済構造を進化させなければ、日本経済の停滞は避けられません。今年から本格的に様々な政策を実行して参ります。

物価燃料高騰対策

世界的な物価高騰だが対策は？

大野：カソリン価格や生鮮食品などを中心に物価の上昇が顕著になっています。理由は資源価格高騰と円安にあります。円安の原因は、日本と欧米の金利差です。欧米はインフレ懸念から金利を上げていますが、日本は金利を上げる理由は見当たりません。今後は多少落ち着くものの傾向はしばらく続く可能性が高いと見ています。今、政府と党として物価・燃料高騰対策を実施しています。例えば、燃料は、現時点で放置すれば二百円以上となるガソリン価格を百七十円程度に抑え込んでいます。本質的には、価格転嫁と賃金アップが可能となる環境整備、政府調達品の柔軟化が必要と認識しています。

食料安全保障は？

大野：食料の安定供給も国の重要な課題です。農水産物を本格的に強化しなければなりません。喫緊の対策は、肥料や飼料及び燃料の価格高騰対策です。肥料は影響緩和策の創設など、飼料は価格安定制度の円滑化など、国内資源の最大活用や自給率向上も目指します。施設園芸や漁業者に対する燃料高騰対策や、輸入の小麦や木材等の原材料価格高騰には、別途、緊急対策を実施します。一方で中長期的で構造的な問題



EU議長国となったチェコ政府主催のインド太平洋ハイレベル会議で



G7関係閣僚会議でウクライナ教育大臣の発言にコメントする大野支部長



G7関係閣僚会議で米国チームと

安倍晋三先生を偲ぶ

政治は現実を直視して課題を解決するためにあります。そしてその意思決定は民主的に行われます。民主的という多数決と捉えられがちですが、私は全く異なるものだと思っています。

偉大な政治家、安倍晋三元総理が凶弾に倒れました。国会終盤議員会館の廊下(事務所が隣)で立ち話をしたのが最後の会話でした。無念でなりません。第一報は地元で受けました。その後、厳しい状況だとの連絡が入るにつれ、怒りと悲しみが交錯した複雑な思いのまま、手を合わせて回復を祈るしか術がなく、遂に午後五時三分に息を引き取ったとの報に接しました。茫然自失。言葉にならない衝撃でした。

常に明るく陽気な人を和ます天才でした。全く威張らない。本質を理解し、ビジョンを明確に示し、細かいことには口を挟まない。部下の言動は自ら責任を取り責任転嫁

G7国際合意

ウクライナ危機に関する協議

大野：G7先進国首脳会議の担当閣僚会議に出席し、教育研究に携わる事業におけるロシアの取り扱い方を協議し、共同声明として取りまとめました。会議冒頭で、ウクライナの教育大臣がリモートでゲスト講演。曰く、「教育関連施設がロシアの攻撃で破壊された。子供達の未来が無ければ国の未来もない。苦しいが授業は継続したい。支援が必要だ」と。G7として支援を約束しました。改めてロシアの暴挙を非難したい。実は五月には、インドネシアで行われた国連防災会議に参加しましたが、ロシア側が発言する際、日本が急遽退席することになりました。アドリブ英語での退席理由の表明は、大変緊張するものでしたが、これから日本は国際秩序を主導的に形成していく必要があります。ひるまず前進していきたいと思ひます。

力家で、原稿を何度も口に出して練習する。そういう人でした。一方で、情に厚く、民主主義と多数決の違いを理解する人でもありました。その考えは社会保障政策によく表れていました。内外問わず多くの人の心を掴んだ政治家でした。権力ではなく、ビジョンや人柄に共感したからだと思います。これほど国外要人から追悼文が寄せられる日本人は過去にもいません。私の手元にも多く届いています。日本よりも先に弔意の半旗を掲揚する国、議会で追悼決議をする国、追悼日を設ける国もありました。

多くの実績を残しましたが、特に国際社会が共感し得る構想力は特筆すべきものでした。政権発足当時、国際秩序への挑戦者が誰なのかを世界は見誤っていた節がありましたが、外交努力により日本の国際的立場は改善。2015年の米国上下両院議会で、歴史的な演説と戦後七十年談話で、決定的となりました。前者は私も同席しましたが、安倍総理という日本人の演説を前にした大勢の米国会議員の心の震えを感じたことを未だに忘れることができません。日本人として大変誇らしく感じました。

平和安全法制は、日米同盟を根本的に質的に改善し、日本の安全を担保しました。同時に「自由で開かれたインド太平洋構想」や「QUAD」など、国際連携の構想を粘り強く主張し続け、同志国の平和と繁栄をも担保するものとして、多くの国から賛同の意が寄せられました。日本の首相として国際秩序に関わる多国間の価値観外交を実現した唯一の人です。

一番印象に残る思い出は、同僚議員と四人で会食した時でした。首脳外交の裏話など永遠に記憶に残るものです。事務所が隣なので、何度か部屋に招き入れても頂きませんでした。雑談で得たものは他に代えがたい勉強になりました。今思えば、そうやって中堅若手に将来の日本を託そうとしていたのかもしれません。

日本は、とてつもなく大きな存在を失いました。日本の歴史上、世界の中でこれほどまでに日本の存在価値を高めた日本人は誰一人いません。批判があっても屈することなく公に尽くす姿勢、胸を打つものがありました。優しい人でもありました。明るい人でもありました。テレビを通じてイメージとは異なる一面を持つ政治家でした。間違いない希代のリーダーであったと思ひます。心からご冥福をお祈りいたします。



首相公邸での意見交換後に



陸上自衛隊習志野駐屯地を視察する豪首相と安倍総理



衆院財務金融委員会にて総理向け質問に割って入り答弁



米国ホワイトハウスに隣接する迎賓施設ブレアハウスでの歓談

大野敬太郎の活動に是非ご協力ください！

ポスター・後援会新聞・運営資金などでガッツリとサポートしたい！

ポスター掲示や新聞配布等につき、地域でお世話頂ける方を募集中です。また会費制のForumK 正規会員を随時募集中です(入会申込書有り)。詳しくはWEB 事務所まで。

政治や経済などに関する勉強会に参加しつつスマートにサポートしたい！

西讃地域は太宝会、中讃地域は大志会として、地域や日本のあるべき姿をご来場いただいた皆様と共に議論する会です。奮ってご入会ご参加ください。

イベント情報や政治動向、大野の視点をタイムリーに知リスパッとサポートしたい！

時事問題や政治動向を大野独自の視点でいち早く不定期で皆様にメールニュースとしてお届けしております。入退会は自由で、もちろん無料です。是非お試し下さい。



team 敬太郎
https://keitaro-obno.com/team-k

facebook